


安心して子どもを生き育てられるよう保育の公的責任の堅持と
保育・学童保育施策の拡充を求める請願書

2018年12月5日

愛知県議会議員
松川 浩明 様

紹介議員 わしの恵子 下奥 奈歩

請願代表者 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 308
愛知保育団体連絡協議会
会長 本田 たみ代 

<請願趣旨>

保育所・学童保育所は、誰もが安心して子どもを生き育て、働き続けられる社会を実現するために不可欠な社会的資源です。保育・学童保育を充実することは、子どもの権利を保障することにもつながります。

しかし、待機児童問題に対応するために、保育施設が守るべき基準を引き下げて保育の量を増やそうとする動きがあり、保育が何よりも子どもの命と安全、発達を優先しないといけなことから考えると大きな不安があります。

また、保育を支える職員の処遇は低く、労働環境も悪化し、保育士不足が深刻化しています。日々の労働で疲弊して、働き続けることがむずかしい状況です。

未来を担う子どもは、社会の希望であり宝です。私たちは、すべての子どもが豊かに育ち、幸せに生きることができる社会の実現を願い、以下の項目について請願いたします。

<請願項目>

1. 子どもの命と安全、発達を保障するために、保育の環境と基準を改善するよう国に働きかけてください。
2. すべての子どもが希望する保育を受けられるよう愛知県内の市町村に働きかけてください。
 - (1) 認可保育所等を整備し、待機児童を解消してください。
 - (2) 育児休業を取得しても、入所児童がその年齢にかかわらず引き続き保育を受けられるようしてください。
 - (3) 職員の配置基準と賃金・処遇を改善してください。
3. 愛知県が独自に行っている1歳児保育実施費、産休・病休代替職員設置費、低年齢児保育所途中入所円滑化事業費や第三子保育料無料化事業費を堅持・拡充してください。
4. ひとり親家庭等医療費助成制度及び就学援助の対象となる家庭で、学童保育が必要な子どもがすべて学童保育所に入れるよう補助制度などを創設してください。

氏名	都道府県名	住所

この署名用紙は厳重に保管され、集計後、議会に提出します。請願以外の目的に個人情報を利用されることは一切ありません。黒もしくは青色のペン書にしてください。住所は、都道府県名から記入してください。